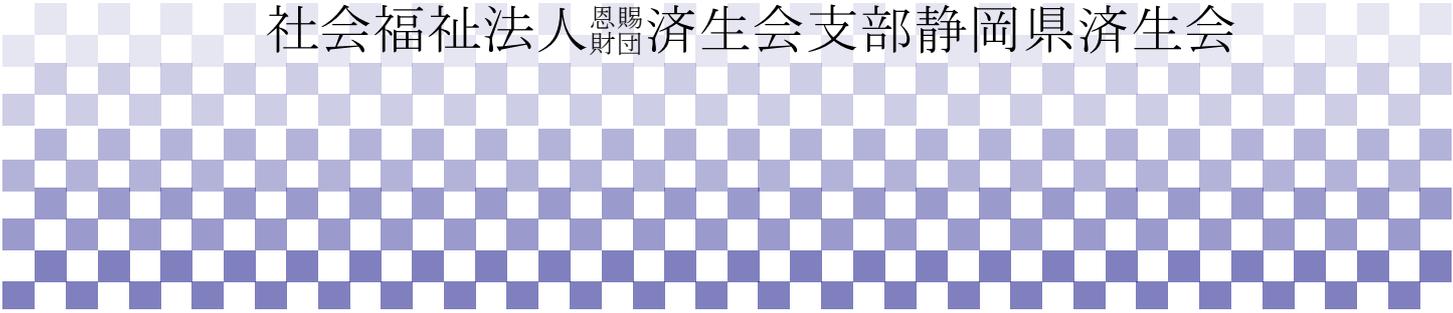


平成28年度 事業報告書

社会福祉法人^{恩賜}財団^{財団}济生会支部静岡県济生会



済 生 会 基 本 原 則

社会福祉法人^{恩賜財団}済生会は、済生勅語にみられる「施薬救療」の精神を承けて済生の実を挙げ、社会福祉の増進を図ることを目的として設立された。

以来、全国にわたり医療機関及びその他の社会福祉施設等を設置して定款に記された事業を行っている。

平成 28 年度静岡県済生会経営方針

済生会の理念と役割の実践

支部理事会を意思決定機関とし、支部長に幅広い権限が一元化された静岡県済生会の業務執行体制は3年目に入り、その機動的かつ効率的な組織運営体制のメリットを最大限生かし、変化する経済・社会状況や経営環境に的確に対応しつつ、安定した経営基盤を確立・強化するとともに、本支部の「施薬救療」の具現化と社会的使命をより一層発揮するため、「中期事業計画」の見直しを行い、その着実な推進に努める。

1 済生会ブランドの構築のために

「施薬救療」の精神を具現化した無料低額診療事業は、済生会活動の原点である。この事業の一層の推進と生活困窮者への支援事業の充実並びに医療・福祉サービスの積極的な推進を図る。全職員がこの事業への理解を深め、幅広くかつ積極的に実行することにより済生会のブランドが確立する。

2 わが国最大の医療・福祉団体としての活動と役割

生活に密着した心温まる医療・福祉サービスを提供する。

また、切れ目のない医療・福祉サービスを提供するためには、あらゆる種類の医療・福祉サービスが密接に連携する必要がある、この面でも先導的な役割を果たしていく。特に、今後の我が国の医療・福祉分野において最重要課題とされる地域包括ケアの形成に向けて、本支部の有する医療・福祉の資源を効果的に活用し、連携を図る取組みを進める。

3 行政・関係団体・地域住民等外部との連携・協力

地域における医療・福祉の需要に応えるため、行政や社会福祉協議会等の他団体との連携・協力などの仕組みを形成し、地域ネットワークのキーステーションとしての役割を担う。

4 良質な人材の確保、「済生会人」としての育成に努め、サービスの向上と組織体制の強化を図る。

5 ガバナンスの確立とコンプライアンスの徹底を図るとともに、危機管理体制の万全な備えに一層努める。

目 次

○ 平成 28 年度事業報告 (案)	頁
1 静岡県済生会支部事務局	1
2 静岡県済生会監査室	10
3 静岡済生会総合病院	13
4 静岡医療福祉センター児童部	18
5 静岡医療福祉センター成人部	22
6 静岡医療福祉センターライトホーム	24
7 静岡市発達障害者支援センター	26
8 伊豆医療福祉センター	29
9 静岡県川奈臨海学園	32
10 静岡市中心身障害児福祉センターいこいの家	35
11 小 鹿 苑	38
12 小鹿なでしこ苑	42
13 静岡市桜の園	44
14 静岡市中心身障害者ケアセンター	49
15 ワーク春日	53
16 静岡済生会看護専門学校	55
17 静岡済生会訪問看護ステーションおしか	57

※各記載事業の前の記号は次のとおりです。

① 指定管理による事業

② 自治体からの委託事業

1 静岡県済生会支部事務局（共通事業）

基本理念

済生会創立の「施薬救療」の理念の下、静岡県済生会の各施設の連携を図り、その総力を挙げて質の高い医療・福祉サービスを提供し、安心・安全な地域医療・福祉の実現に寄与する。

平成 28 年度目標と結果

目標 1 5カ年に渡る中期事業計画と第二次なでしこプランの4年目にあたり、各事業の積極的な推進とその進捗状況の的確な管理を行う。

結果 本支部施設においては、施設行事開催に合わせて目標 2,066 名 (1,176 名) に対して、延べ 1,895 名 (1,755 名) [ホームレス 84 名 (51 名)、高齢者及び障害者 1,121 名 (1,114 名)、刑余者 49 名 (47 名)、外国人 154 名 (169 名)、母子児童 168 名 (118 名)、その他 297 名 (256 名) 28 計画外新規事業 22 名] に対して、健康診断、健康・医療相談等を行った。(詳細は、5 ページから 8 ページ参照)

目標 2 社会福祉の増進を図るべく、各施設への総合的な支援を行う。

結果 福祉施設の経営改善、改築問題等に対し側面から施設への支援を行った。

(1) 支部事務局運営事業

社会福祉法人^{思賜財団}静岡県済生会の法人管理並びに運営事務について、次のとおり事業を行った。

ア 支部理事会の開催・・・7 回開催（支部理事会 6 回）

	開催日	場所
第 1 回	平成 28 年 4 月 28 日	グランディエールブクトーカイ
第 2 回	平成 28 年 7 月 28 日	グランディエールブクトーカイ
第 3 回	平成 28 年 7 月 28 日	グランディエールブクトーカイ
第 4 回	平成 28 年 9 月 23 日	グランディエールブクトーカイ
第 5 回	平成 28 年 12 月 6 日	静岡済生会総合病院
第 6 回	平成 29 年 1 月 31 日	グランディエールブクトーカイ
第 7 回	平成 29 年 3 月 23 日	グランディエールブクトーカイ

イ 諸会議の開催

会議名称	回
・支部事務局会議	22 (23)
・支部執行会議	7 (6)
・職員共済制度委員会	0 (1)

ウ 済生会本部等との連絡調整

会 議 名 称	回
・支部長会議（本部）	1（2）
・全国済生会支部事務責任者会議（山形県支部） 〔H25 までは、全国済生会常勤常務（業務担当）理事協議会〕	1（1）

エ 医療施設及び社会福祉施設等の有機的な連携を図るための連絡調整

会 議 名 称	回
・静岡県済生会地域包括ケア推進検討委員会（懇話会含む） 〔H27 までは、介護保険施設連絡会〕	12（3）
・静岡県済生会福祉医療施設長懇話会	1（1）

オ 第三者委員会の運営に係る業務・・・2回（2回）

	開 催 日	会 場
第1回	平成28年8月4日	小鹿苑（施設見学・会場）
第2回	平成28年12月16日	小鹿苑（見学先：静岡済生会総合病院）

カ 職員研修事業の実施・・・2回（1回）

	開 催 日	内 容
第1回	平成28年4月1日	「新入オリエンテーション」 無料低額診療事業の説明 コンプライアンスについて 新規採用職員129名出席（108名）
第2回	平成29年2月10日	「業務主任研修」 支部施設における主任としての役割 の確認、リーダーシップの在り方を学 び、他施設間の交流を深める。 12施設26名

キ その他、法人の管理運営に係る業務

・会計事務所等による会計監査及び監事監査・・・全施設

	開 催 日	対 象
監査法人及び会計事務所による会計監査	平成28年4月19日、20日	静岡済生会総合病院 福祉施設等
監事監査	平成28年4月22日	全施設

・行政機関（静岡県、静岡市）による指導監査への立会い

(2) 生活困窮者支援事業

生活困窮者総合支援事業（なでしこプラン）を病院、各施設とともに推進、展開した。（※各施設別詳細については、4ページ～9ページ参照）

また、就職相談会、介護フェア等においても無料低額診療事業等のパンフレット配布やDVD上映等を行い、啓発活動を実施した。

(3) 静岡県済生会職員共済制度事業

職員及び家族の福利厚生の上をを図るため、各種給付及び貸付事業を実施した。実績は、次のとおりであった。

事業名	平成28年度実績		平成27年度実績	
	人数(名)	決算額(円)	人数(名)	決算額(円)
退職共済事業給付金	24	113,374,146	33	133,349,986
医療共済給付金	5,543	33,043,409	5,704	34,097,827
職員共済制度資金貸付事業	0	0	0	0

(4) 施設整備等への支援

ア 総合病院事業施設整備支援

新東館増築工事への支援を行った。

イ 静岡県川奈臨海学園

施設の小規模化と施設機能の地域分散化を目的とした「家庭的養護の推進計画」を策定するに当たり、県の所管課及び関係機関と老朽化した施設の建て替えも視野に入れ、今後の学園の在り方について協議を行った。

ウ 平成28年10月25日秋篠宮同妃両殿下による静岡済生会総合病院及び静岡医療福祉センター視察に当たり、行政機関、済生会本部及び視察先施設と連携を図った。

平成28年度「なでしこプラン」事業実施報告

施設名	事業名	H27年度		H28年度		
		目標値	実績	改正前	改正後	実績
静岡済生会総合病院	「外国人のための無料健康相談と検診会」支援事業	70	72	70	95	100
	ホームレス等受診者に対する日用品、交通費等の支給事業	30	16	30	30	33
	ハローワーク健康診断、相談事業	30	0	30	30	0
	保護観察所等刑余者健診・相談事業	40	47	40	60	49
	児童・母子福祉施設等健康診断支援事業	20	0	20	20	51
	社会福祉施設等健康診断支援事業	700	1,067	700	1,200	942
	支部内各施設における無料健康相談	10	32	10	10	0
	生活困窮者の無料検診、相談事業(H27年度より実施)		50		50	83
	聴力障害者への支援(H27年度より実施)		31		20	49
	在留外国人への支援(H27年度より実施)		97		50	54
静岡医療福祉センター児童部	障害児療育講座	160	107	160	160	102
伊豆医療福祉センター	障害者健康相談事業(旧:無料健康相談会)	5	※	5	10	25
静岡県川奈臨海学園	りんかい保育室の緊急受け入れ事業	11	0	11	5	0
小鹿苑・総合病院・成人部	無料健康相談会	13	※	13	13	2
小鹿苑・総合病院・なでしこ苑	啓蒙・周知活動	85	236	85	310	305
静岡市桜の園・病院	虐待障害者への緊急受け入れ事業	2	0	2	2	78
静岡市桜の園	少年院在院者奉仕活動実習受け入れ事業(H28年度より実施)					22
小鹿苑	虐待障害者への緊急受け入れ事業		0		1	0
なでしこプラン対象者数合計		1,176	1,755	1,176	2,066	1,895

改正後の目標値に対し ▲171

平成28年度なでしこプラン事業報告(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

支部署名	静岡県済生会	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計	
		28年度事業	84		1,121	49	154	168	297	1,873	
		28年度新規事業									22
		27年度	51		1,114	47	169	118	256	1,755	

施設名	静岡県済生会総合病院
-----	------------

事業名	「外国人のための無料健康相談と検診会」支援事業	内容	健康診断 ()							
概要	市医師会、実行委員会、医療福祉関係団体等と連携し、「外国人のための無料健康相談と検診会」に看護師やMSW等を派遣。血液検査などを無料にして、生活困窮外国人を対象に健康相談および検診を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数					100			100
実施延日数	1	従事者延数	30	支出総額(円)	636,681	(内訳)		検診料等		
特記事項	連携している団体・機関名 事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	外国人のための無料健康相談と検診会実行委員会、静岡市静岡医師会、静岡県国際交流協会、静岡県立大学								

事業名	ホームレス等受診者に対する日用品、交通費等の支給事業	内容	その他 (その他)							
概要	緊急入院したホームレス、DV被害者等の受診者を対象に日用品の支給を行う。また、軽症の場合等には、病院から目的地までの交通費の支給も行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数	1		32					33
実施延日数	33	従事者延数	33	支出総額(円)	176,331	(内訳)		日用品、交通費等		
特記事項	連携している団体・機関名 事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

事業名	ハローワーク健康診断・相談事業	内容	健康・医療相談 ()							
概要	静岡労働局、ハローワーク等と連携し、ハローワークや施設内等にて、求職者を対象に健康相談やカウンセリングを行う。また、要請に応じて、専門職員を派遣し、ケース会議の実施や専門的助言を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数		従事者延数		支出総額(円)		(内訳)				
特記事項	連携している団体・機関名 事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	ハローワークからの依頼が無かったため、対象者無し。								

事業名	保護観察所等健診・相談事業	内容	健康診断 ()							
概要	保護観察所、刑務所、更生保護施設、地域生活定着支援センターと連携し、刑務所・更生保護施設又は院内にて、刑余者等を対象に健康相談及び健康診断を行う。また、要請に応じて、専門職員を派遣し、ケース会議の実施や専門的助言を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数				49				49
実施延日数	1	従事者延数	4	支出総額(円)	123,578	(内訳)		健診料等		
特記事項	連携している団体・機関名 事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	静岡刑務所								

事業名	児童・母子福祉施設等健診・相談事業		内容	健康・医療相談 ()							
概要	児童・母子福祉施設、静岡県子ども家庭相談支援センター等と連携し、児童・母子福祉施設又は院内にて、児童・母子福祉施設の入所者を対象に健康相談及び健康診断を行う。また、要請に応じて、専門職員を派遣し、ケース会議の実施や専門的助言を行う		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			対象者延数						51		51
実施延日数	3	従事者延数	6	支出総額(円) 117,245			(内訳)		健診料等		
特記事項	連携している団体・機関名		千代田寮、静岡県子ども家庭相談センター								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

事業名	社会福祉施設等健康診断支援事業		内容	健康診断 ()							
概要	社会福祉施設(養護老人ホーム、軽費老人ホーム、身体障害者各施設等)と連携し、当該施設又は院内にて、当該施設の利用者を対象に健康診断にかかる費用の免除・減額を行う		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			対象者延数			942					942
実施延日数	69	従事者延数	276	支出総額(円) 2,244,591			(内訳)		健診料等		
特記事項	連携している団体・機関名		救護所、静岡老人ホーム、日本平学園、白寿荘、ラポールあおい・たけみ・チャクラ、ゆいまある等								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

事業名	生活困窮者の無料健診・相談事業		内容	健康・医療相談 ()							
概要	神奈川県済生会協働で横浜市寿町で生活困窮者を対象に無料検診を行い、静岡病院は健診車(橋腹部撮影、聴力、視力等搭載)の派遣を行う		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			対象者延数	83							83
実施延日数	2	従事者延数	11	支出総額(円) 153,968			(内訳)		健診料等		
特記事項	連携している団体・機関名		神奈川県済生会、埼玉県済生会、NPO法人								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

事業名	聴力障害者への支援		内容	その他 (その他)							
概要	聴力障害者を対象に、診察、入院時に手話通訳の支援、調整を行う		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			対象者延数			49					49
実施延日数	49	従事者延数	147	支出総額(円)			(内訳)				
特記事項	連携している団体・機関名		静岡市障害者支援課								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

事業名	在留外国人への支援		内容	その他 (その他)							
概要	静岡県国際交流協会等と連携し、診察、入退院時に医療通訳の支援、調整を行う(スペイン・ポルトガル語)		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			対象者延数					54			54
実施延日数	52	従事者延数	156	支出総額(円) 212,176			(内訳)		医療通訳費、診療費		
特記事項	連携している団体・機関名		静岡県国際交流協会								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

施設名	支部、静岡済生会総合病院、静岡医療福祉センター成人部・児童部、伊豆医療福祉センター、静岡県川奈臨海学園、静岡市心身障害児福祉センターいこいの家、小鹿苑、静岡市桜の園、ワーク春日
-----	--

事業名	支部内各施設における無料健康相談会	内容	健康・医療相談 ()							
概要	福祉事務所、民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携し、各施設内にて、生活困窮者を含む地域住民を対象に医師等による健康相談及び健康診断を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数	従事者延数	支出総額(円)	(内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	ワーク春日のイベントが無く、健康相談無し								

施設名	特別養護老人ホーム小鹿苑、静岡医療福祉センター成人部、静岡済生会総合病院
-----	--------------------------------------

事業名	無料健康相談会	内容	健康・医療相談 ()							
概要	施設利用者・家族を対象に無料の相談会を施設行事開催時に行う。施設利用者だけでなく幅広く参加を募る	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数							2	2
実施延日数	1	従事者延数	2	支出総額(円)	(内訳)					
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	施設の行事開催時に相談コーナーを設け実施したが、参加者は少数であった。今後は事前により積極的な周知活動を行う。(小鹿苑)								

施設名	特別養護老人ホーム小鹿苑、静岡済生会総合病院、特別養護老人ホーム小鹿なでしこ苑
-----	---

事業名	啓蒙・周知活動	内容	その他 (研 修)							
概要	施設利用者・家族を対象になでしこプラン等の済生会の活動について講演会を施設行事開催時に行う。施設利用者だけでなく地域住民へも幅広く参加を募る	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数			18				287	305
実施延日数	13	従事者延数	54	支出総額(円)	51,377 (内訳) 昼食提供(小鹿苑)、認知症カフェ(小鹿なでしこ苑)					
特記事項	連携している団体・機関名	民生委員会、従事者研修会、けあまねっと静岡(ケアマネージャー)								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	小鹿苑(18名)、小鹿なでしこ苑(96名)、静岡済生会総合病院(191名)								

施設名	特別養護老人ホーム小鹿苑
-----	--------------

事業名	虐待高齢者緊急受入れ事業	内容	その他 (その他)							
概要	家族の介護放棄による虐待高齢者を緊急入所により受け入れる	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数		従事者延数		支出総額(円)	(内訳)					
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	虐待による受入の対象となる高齢者がいなかったため、未実施。								

施設名 静岡市桜の園、静岡済生会総合病院												
事業名	虐待障害者への緊急受入れ事業			内容	その他 (その他)							
概要	家族等による障害者への虐待の緊急保護において、緊急を要するケースを静岡済生会総合病院と連携し受け入れていく			支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
				対象者延数			78					
実施延日数	78	従事者延数	957	支出総額(円)	(内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名		静岡市									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)		1名78日間の入所がありました。従事者延べ数につきましては、78日間の支援員延べ数となります。									

施設名 伊豆医療福祉センター												
事業名	障害者健康相談事業			内容	健康・医療相談 ()							
概要	施設公開(1年に1回)の際に、看護師・療法士・相談員等による相談会を実施する			支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
				対象者延数			2			15	8	25
実施延日数	1	従事者延数	45	支出総額(円)	101,263	(内訳)		チラシ作成料他				
特記事項	連携している団体・機関名											
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)											

施設名 静岡県川奈臨海学園										
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業名	りんかい保育室の緊急受け入れ事業			内容	その他 (その他)							
概要	伊東市の委託によるの病児保育事業「りんかい保育室」事業において、緊急を要するケース(虐待など)を事業外で受け入れていく			支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
				対象者延数								
実施延日数		従事者延数		支出総額(円)	(内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名											
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)		該当の虐待ケースの受け入れがなかったため、未実施。									

施設名 静岡医療福祉センター児童部										
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業名	障害児療育講座(健康医療相談)			内容	健康・医療相談 ()							
概要	施設利用者・家族を対象に無料の相談会を療育セミナー開催時に行う。施設利用者だけでなく幅広く参加を募る			支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
				対象者延数						102		102
実施延日数	8	従事者延数	64	支出総額(円)	(内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名											
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)											

平成28度事業計画後に実施した事業

施設名	静岡市桜の園
-----	--------

事業名	少年院在院者奉仕活動実習受入れ事業	内容	その他 (その他)							
概要	短期間で改善・更正する可能性が高いとされた、概ね18歳未満の少年が入院する「駿府学園」と連携し、在院者に対して更正に向けた教育活動を実施する場として、桜の園生活介護事業(通所)を実習先として提供する。	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数				22				22
実施延日数	9	従事者延数	9	支出総額(円) (内訳)						
特記事項	連携している団体・機関名	駿府学園								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

事業名		内容	()							
概要		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数		従事者延数		支出総額(円) (内訳)						
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

施設名	
-----	--

事業名		内容	()							
概要		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数		従事者延数		支出総額(円) (内訳)						
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

施設名	
-----	--

事業名		内容	()							
概要		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数		従事者延数		支出総額(円) (内訳)						
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

2 静岡県済生会監査室

組織のコンプライアンスの徹底と説明責任の履行が強く求められる中で、社会福祉法人においても内部統制システムの整備と適切な運用が強く要請されており、これまで以上に業務チェック機能を果たす内部監査の重要性が高まっている。

平成 24 年度に発足した内部監査を所管する監査室は、昨年度に引き続き関係法令、通知等に基づき施設の事務処理及び運営等が適正に行われているかどうかを明らかにし、必要な指導等を行うために下記の監査を実施した。

(1) 社会福祉法人^{恩賜財団}済生会支部静岡県済生会監査規程に則って次の監査を実施した。

ア 定期監査

時期及び内容を定めて計画的に実施

イ 決算監査

毎会計年度終了後、決算役員会前に実施

・ 定期監査 ・

施設名	監査日
静岡県川奈臨海学園	平成 28 年 10 月 7 日
小鹿なでしこ苑	平成 28 年 11 月 16 日
小鹿苑	平成 28 年 11 月 17 日
静岡医療福祉センター児童部	平成 28 年 11 月 21 日
静岡医療福祉センター成人部	平成 28 年 11 月 21 日
静岡市桜の園	平成 28 年 11 月 22 日
ワーク春日	平成 29 年 2 月 21 日
静岡市心身障害児福祉センターいこいの家	平成 29 年 2 月 23 日
伊豆医療福祉センター	平成 29 年 2 月 24 日
静岡済生会看護専門学校	平成 29 年 2 月 27 日
静岡済生会訪問看護ステーションおしか	平成 29 年 3 月 15 日

・ 決算監査 ・

施設名	監査日
監査法人および会計事務所による会計監査	平成 28 年 4 月 19 日 20 日
監事監査	平成 28 年 4 月 22 日

(2) 行政機関等による指導監査及び実地指導等への立会いを行った。

- ・東海北陸厚生局及び静岡県の適時調査及び個別指導

施設名	監査日
伊豆医療福祉センター	平成28年9月16日

- ・静岡県財政援助団体監査

施設名	監査日
支部静岡済生会	平成28年9月8日

- ・静岡県・静岡市による指導監査

施設名	監査日	実施機関
静岡県川奈臨海学園	平成28年10月18日	静岡県
小鹿苑	平成28年11月24日	静岡市
小鹿なでしこ苑	平成28年11月25日	静岡市
静岡市桜の園	平成28年11月29日	静岡市
静岡医療福祉センター児童部	平成28年11月30日	静岡市
静岡医療福祉センター成人部	平成28年11月30日	静岡市
なでしこ保育園	平成28年12月19日	静岡市

- ・静岡市による実地指導

施設名	監査日	実施機関
静岡市中心身障害児福祉センターいこいの家	平成28年9月8日	静岡市
静岡市桜の園城北館	平成28年9月12日	静岡市
静岡医療福祉センター成人部	平成28年9月27日	静岡市
小鹿なでしこ苑	平成28年10月14日	静岡市
静岡医療福祉センター児童部	平成28年11月24日	静岡市

- ・静岡市保健所立ち入り検査

施設名	監査日	実施機関
静岡済生会総合病院	平成28年10月7日	静岡市保健所

(3) 支部監事による施設実地監査への立会を行った。

施設名	監査日
静岡県川奈臨海学園	平成 28 年 7 月 19 日
伊豆医療福祉センター	平成 28 年 7 月 19 日
静岡市桜の園	平成 28 年 11 月 8 日
静岡市心身障害児福祉センターいこいの家	平成 28 年 11 月 8 日
静岡市心身障害者ケアセンター	平成 28 年 11 月 8 日
静岡医療福祉センター児童部	平成 29 年 3 月 7 日
静岡医療福祉センター成人部	平成 29 年 3 月 7 日
小鹿苑	平成 29 年 3 月 7 日
小鹿なでしこ苑	平成 29 年 3 月 7 日

(4) 本部監査法人（トーマツ）による訪問調査への立会を行った。

施設名	監査日
静岡済生会総合病院	平成 28 年 10 月 12 日
小鹿苑	平成 28 年 10 月 13 日
小鹿なでしこ苑	平成 28 年 10 月 13 日
静岡済生会看護専門学校	平成 28 年 10 月 14 日

3 静岡済生会総合病院（病院等事業）

基本理念

私達は暖かい思いやりの心で質の良い医療・福祉サービスを実践します。

平成 28 年度目標及び結果

目標 1 優秀な人材の確保

必要な人材の確保と定着を目指し、職員教育の更なる充実を図る。

結果

後期研修医 4 名確保（小児科・産婦人科・形成外科・麻酔科）

医師 4 名確保（呼吸器内科 1 名・耳鼻咽喉科 1 名・小児科 2 名）

目標 2 働きやすい環境

(1) 専門性を生かした業務を行える体制を整備する。

(2) ワークライフバランスの充実に取り組み、働きやすい環境づくりを行う。

(3) 障害者雇用率の向上に努める。

結果

障害者雇用率の向上に努めた（2.2%→2.4%）

職員旅行の実施

目標 3 安定した経営

安定した財源による建築計画の遂行のため、病床稼働率の向上等に努める。

結果

安定した財源による建築計画の遂行のため、病床稼働率の向上、救急車受入数の向上等に努めた。

目標 4 安心・安全・高機能な急性期医療の提供

(1) 業務の標準化と整理整頓等を進め、顧客サービスの向上に努める。

(2) 入院患者を中心とした機能の集約を目指す。

(3) 医療安全対策・感染対策について、一層の強化を図る。

結果

院内環境デザイン（標示、ポスター、その他レイアウト）の充実に努めた。

エコアクション 21 の更新受審

医師からのインシデントレポート提出 35%アップ・手指衛生の向上に努めた。

目標 5 患者さん・連携医へのサービス向上

(1) プライバシーの配慮、待ち時間の短縮、接遇の質の向上を図る。

(2) 地域の医療機関との連携を強化した紹介・逆紹介の推進

(3) 無料低額診療の推進

結果

近隣駐車場の渋滞緩和に努めた。

広報活動を通じ紹介・逆紹介の推進に努めた。

特定疾病療養患者の食事・病衣代を無料にした。

静岡県中部地域の中核病院（昭和 23 年 6 月 1 日開設）として、入院診療を中心とする診療の充実に努めるとともに、救命救急センター、地域災害医療センター、健康管理センターのほか病診連携の強化・地域福祉サービス事業の運営・活動を積極的に進め、地域住民の疾病治療、予防、健康の増進を図った。

医療の質及びサービスの向上を図るため、医師等職員の確保、看護職員の定着対策、医療安全対策の強化に努めた。

（１）病院運営事業

許可病床 521 床の有効利用と 25 科の診療体制による安定した運営に努めた。

区 分		平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
入 院	患者延べ数	162,060 名	160,085 名	150,789 名
	1 日平均患者数	444.0 名	438.6 名	412.0 名
	患者 1 人 1 日当りの診療費	62,000 円	57,508 円	57,361 円
外 来	患者延べ数	240,548 名	235,730 名	226,368 名
	1 日平均患者数	994.0 名	974.1 名	931.6 名
	患者 1 人 1 日当りの診療費	16,000 円	15,446 円	15,052 円

（２）救命救急センター・地域災害医療センター事業等

昭和 55 年 7 月 1 日より業務開始された救命救急センターに、医師・看護師・診療放射線技師・臨床検査技師及び事務員を配置し、休日夜間など 24 時間体制で治療を行った。

区 分	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
救急外来患者	17,000 名	13,491 名	12,403 名
入院患者	3,750 名	4,333 名	3,585 名
延べ入院患者	事業計画には記載なし	5,987 名	6,798 名

(3) 臨床研修事業

臨床研修病院として、研修医を受け入れ、各科指導医による臨床実務を通じて基本的知識、技術の習得などの臨床研修を行い医師としての資質向上に努めた。

臨床研修終了後、3名の医師を後期研修医として採用した。

区 分	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
受入研修医数	23 名	22 名	19 名

(4) 医師・看護師確保対策事業（院内保育所）

看護師の離職を防止し、潜在看護師の再就職を促進するため、院内に保育所を設けて、平成 27 年度には共同利用型院内保育所（定員 110 名）なでしこ保育園を新たに開設した。

区 分	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
事業所内保育事業（共同枠）	65 名	66 名	66 名
〃（地域枠）	20 名	15 名	17 名
病児保育事業	30 名	130 名	23 名
放課後児童健全育成事業	10 名	4 名	(3 名)

(5) 地域福祉サービス事業

社会福祉法人の総合病院として、各医療福祉相談活動を通じ、地域住民の疾病治療、予防、健康の増進など社会福祉の向上に努めた。

区 分	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
医療相談	11,000 件	10,330 件	10,050 件
心理相談	5,000 件	5,190 件	5,566 件

(6) 無料低額診療事業

生計困難者を対象に、無料または低額な料金での診療、無料の健康相談、保健教育等を行った。診療活動においては、生活保護患者以外の生計困難者について関係機関と連携の上、対象者への支援を拡大した。(特定疾病の患者の食事・病衣代を無料にした)また、福祉施設職員等を対象に、保健医療に関する研修会を開催した。(2回開催延べ98人参加)

区 分	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
無料低額診療事業患者延べ数	40,000 名	32,057 名	27,858 名

(7) 生活困窮者支援事業

無料低額診療対象者のみならず、生活困窮者全般を対象に、無料健康相談や無料または低額な料金での検診等を行った。無料低額診療事業とあわせて、支部内の他施設も含め、地域の関係機関・団体や当事者とともに啓発活動、教育活動の他、地域での福祉的課題について積極的に取組を行った。

主な対象者：刑余者（刑務所などを出所した者）、DV被害者、ホームレス、単身高齢者、就労困難者への支援など

区 分	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
検診等	事業計画には記載なし	1,226 名	1,236 名
無料健康相談等	事業計画には記載なし	3 件	9 件
啓発活動	事業計画には記載なし	4 回	7 回

(8) 健康管理センター事業

地域住民及び福祉施設入所者、一般事業所従業者の疾病予防、健康の保持増進に定めるため、生活習慣病集団検診・一般健康診断・人間ドック・脳ドック・特定健診等を積極的に実施した。

区 分	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
人間ドック	1,800 名	1,589 名	1,523 名
生活習慣病予防健診等	8,550 名	10,813 名	8,587 名

(9) 岡本一男記念基金事業

静岡県済生会に勤務する職員が行う医学的研究・研修に対し助成するとともに、優れた業績の顕彰を行い、福祉・医療の向上を図る事業である。

(医学の研究・研修・福祉医療活動 等)

区 分	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
助成件数	事業計画には記載なし	0 件	1 件

(10) ナーススクール事業

将来の生き方や職業の選択について考えている、主に静岡市内の小・高校生を対象として、保健・医療・福祉への理解を深めるため、ナース体験等の研修を開催した。

区 分	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
小学生参加人数	30 名	21 名	31 名
高校生参加人数	100 名	99 名	94 名

4 静岡医療福祉センター児童部（病院等事業）

基本理念

私たちはノーマライゼーション実現のため、あたたかな心をもって皆さんを応援いたします。

平成 28 年度目標及び結果

目標 1 医師の確保

結果 非常勤医師 1 名（小児科）採用

目標 2 経営の健全化

- (1) 患者数の確保 1 日平均 入院 50 名 外来 190 名
- (2) 施設基準の維持 入院基本料 10:1
- (3) 看護師の確保

結果

- (1) 1 日平均入院患者数 45.0 名 1 日平均外来患者数 192.4 名
- (2) 10:1 を維持
- (3) 正規看護師 2 名、非常勤看護師 3 名採用

目標 3 職員の質の向上及び早期離職防止を図る

結果 職種別の資質向上のため専門研修への積極参加

目標 4 特定・障害児相談による計画相談の実施

結果 困難ケース対応中心に 130 名程度

(1) 医療型障害児入所施設事業（一種事業）（定員 60 名）

入所児及び通院児に対し、リハビリテーションを中心にした専門的医療・教育・施設内保育・生活指導等の「総合療育」を実施した。従来の肢体不自由児療育に加え、発達障害児の診療を行うなど、利用者からの幅広いニーズに応えた。入所児童数は、保育・教育機関の環境の充実、交通網の発達による在宅志向の高まりなどから減少傾向にある。外来患者数は前年より増加となった。

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
(入所)			
年間入所児童数		52 名	56 名
年間退所児童数		53 名	57 名
年間延入所児童数		16,414 名	17,299 名
年間延入所者数		16,443 名	17,649 名
一日平均入所児童数	50 名	45.0 名	47.3 名

一日平均入所者数 (外来)		45.0名	48.4名
年間延外来患者数		46,570名	45,748名
年間診療日数		242日	241日
一日平均外来患者数	190名	192.4名	189.8名

疾病別人員 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

病名	年間実人員(名)	構成比(%)
脳性麻痺	85	86.7
進行性筋・神経疾患	6	6.1
二分脊椎	3	3.1
その他	4	4.1
計	98	100.0

月別入所者数

年月	初日在籍者数(名)	延べ人数(名)
28年 4月	42	1,318
5月	41	1,361
6月	45	1,347
7月	45	1,377
8月	49	1,525
9月	43	1,235
10月	41	1,392
11月	45	1,362
12月	45	1,421
29年 1月	43	1,435
2月	47	1,306
3月	43	1,364
合計	529	16,443
月平均	44.1	1,370.3
一日平均		45.0

㊦ (2) 障害福祉サービス事業(短期入所)(二種事業)

障害者総合支援法による指定障害福祉サービス事業所として、市町から障害福祉サービス受給者証の交付を受けた利用者と契約し、家庭において、冠婚葬祭、疾病、事故などの理由や、養育者のレスパイトとしての休養や旅行等の理由による短期入所を受けることにより、本人及びその家族の福祉の向上を支援した。

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間利用延人数	550 名	89 名	148 名
一日平均利用人数	1.5 名	0.24 名	0.41 名

⑤ (3) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業（二種事業）

⑤ア 静岡市障害者等相談支援事業

静岡市における相談支援事業指定施設として、在宅福祉を担当する職員を配置し、在宅の障害児（者）及び保護者に対して地域生活での具体的な相談、指導、サービスの調整を実施すると共に地域生活に根ざしたボランティアの育成を図った。

⑤イ 障害者等相談支援事業（虐待相談等含む）

相談支援事業として総合的な在宅サービスの調整、援助等

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
地域生活の支援・助言	2,000 件	952 名 3,479 件	1,187 名 4,902 件

⑤ウ 障害児等療育支援事業

(7) 在宅支援訪問療育等指導事業

- ・派遣職員 医師、PT、OT、ST、心理士等
- ・活動先 障害児保育実施園、重度障害児（者）訓練ホームの巡回、在宅訪問

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
相談等延件数	73 件	86 名 86 件	106 名 106 件

(イ) 在宅支援外来療育等指導事業

- ・個別相談、療育音楽、グループ保育活動

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
相談指導延件数	280 件	370 名 370 件	334 名 334 件

(ウ) 施設支援一般指導事業

- ・障害児保育研修、発達フォローアップ教室、自主研修会等の指導等

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
支援回数	12 件	14 件	17 件

- エ 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
 ・利用者の相談支援及びサービス利用計画書の作成等

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
利用計画書作成件数	130 件	132 件	132 件

㊦ (4) 日中一時支援事業 (公益事業)

在宅福祉を担当する相談支援員を中心に、医療施設機能を提供しながら在宅の障害児 (者) の相談支援や施設短期入所の受け入れなど、地域に住む家族の生活への具体的な支援事業を実施した。

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間利用延人数	150 件	18 件	31 件
一日平均利用人数	0.5 名	0.05 名	0.08 名

(5) その他の事業

研修室・会議室等運営事業

医療・社会福祉事業に携わる者の研修等の便宜に供するため、会議室等の管理運営事業を行った。

ア 会議室、ミーティング室利用状況

	平成 28 年度 目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績	適用
会議等利 用人数	4,800 名	3,444 名	3,490 名	福祉関係機関の研修会等
		3,033 名	3,691 名	福祉団体・ボランティア 関係等の会議・講習会
		46 名	45 名	当福祉施設の見学・研修 等

イ 宿泊施設利用状況

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
宿泊施設利用人数	30 名	25 名	18 名

※ () 内は平成 27 年度実績

静岡医療福祉センター成人部 (社会福祉事業)

基本理念

- ・健康で豊かに安心して生活できるよう支援します。

平成 28 年度目標及び結果

目標 感染症対策と疾病予防、早期治療に努め健康の維持を図る。

結果 感染症対策の強化 (感染症の恐れの場合、職員が観察可能な個室へ移動し拡大を防ぐ等) により、外部からの感染症も拡大を防いだ。
一方で、入所者の高齢化により、悪性腫瘍等の疾病が見られるようになってきたが、早期の治療により継続して施設生活を送る事が出来ている。

(1) 障害者支援施設 (一種事業) (施設入所支援 60 名、生活介護 60 名)

障害者総合支援法による障害者支援施設として、日中は「生活介護」、夜間は「施設入所支援」の 2 事業を行った。

・定員施設入所支援	60 名	(60 名)
・年間入所者数	1 名	(6 名)
・年間退所者数	1 名	(5 名)
・年間延在所者数	20,052 名	(19,918 名)
・一日平均在所者数	54.9 名	(54.7 名)

疾病別人員

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

病名	年間実人員 (名)	百分比 (%)
脳卒中	38	65.5
その他の脳原性疾患	9	15.5
脳外傷	1	1.7
その他	10	17.3
計	58	100.0

月別生活介護・入所者数

月	生活介護							施設入所	
	入所		通所		合計				
	入所 人数	利用 人数	延べ利用数	利用 人数	延べ利用数	利用 人数	延べ利用数	利用 人数	延べ利用数
4	57	56	1,161	9	63	65	1,224	56	1,655
5	57	55	1,189	9	66	64	1,255	55	1,677
6	57	55	1,172	9	73	64	1,245	55	1,598
7	56	56	1,153	8	68	64	1,221	56	1,693
8	56	56	1,253	8	72	64	1,325	56	1,687
9	56	56	1,200	6	55	63	1,255	56	1,636
10	56	56	1,169	7	55	63	1,224	56	1,722
11	56	56	1,223	7	58	63	1,281	56	1,669
12	56	56	1,212	7	57	63	1,269	56	1,704
1	56	56	1,222	6	45	62	1,267	56	1,722
2	57	57	1,125	6	47	63	1,172	57	1,573
3	57	56	1,275	6	57	62	1,332	56	1,716
計			14,354		716		15,070		20,052

- ・定員生活介護 60名 (60名)
- ・開所日数 261日 (262日)
- ・年間延利用者数 15,070名 (15,092名)
- ・一日平均在所者数 57.7名 (57.6名)

(2) 福祉サービス事業（短期入所）（二種事業）（空床）

指定障害福祉サービス事業所として短期入所事業を空きベッドを利用して実施した。

年間延利用者人数 (目標 200名) 284名 (334名)
 1日あたり (目標 0.6名) 0.8名 (0.9名)

6 静岡医療福祉センターライトホーム（二種事業）

基本理念

三療免許者に対し、必要な技術及び生活指導を行い、利用者の自立更生をはかる。

平成 28 年度目標及び結果

目標 1 利用者（施術者）の確保

結果 ・新規利用者 1 名、退所者 2 名
・各地区視覚特別支援学校よりの施設見学、施術体験の受入

目標 2 経営の安定化

結果 ・患者数の確保 利用客数 2,201 人

目標 3 マッサージの無料奉仕の実施

結果 ・平成 28 年 9 月 22 日（木）実施

目標 4 済生会病院ホスピタルフェアへの参加（無料体験マッサージの実施）

結果 ・平成 28 年 6 月 11 日（土）参加

（1）利用者指導事業（定員 20 名）

利用者の技術（鍼・灸・マッサージ）及び生活訓練動作の指導を行い、自立生活ができるよう養成に努めた。

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間新通所者数		1 名	4 名
年間退所者数		2 名	2 名
年間延通所者数		775 名	735 名
一日平均通所者数	10 名	3.2 名	3.0 名

疾病別人員（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

疾病分類	通所実人員（名）	構成比（％）
先天性視覚障害者	1	16.7
中途視覚障害者	5	83.3
計	6	100.0

月別在所者数

年 月	通所者延人数 (名)
28年 4月	68
5月	56
6月	80
7月	69
8月	72
9月	64
10月	65
11月	60
12月	55
1月	59
2月	61
3月	66
合計	775
月平均	64.6
一日平均	3.2

(年間通所日数 241日)

(2) その他

マッサージの無料奉仕を実施した。済生会病院ホスピタルフェアへの参加し、無料体験マッサージを実施した。

7 静岡市発達障害者支援センター（公益事業）

基本理念

直接支援である相談、発達、就労支援及び情報提供や啓発研修のより一層の充実を図り、医療、保健、福祉、教育、雇用、親の会など関係機関や団体との連携により専門性を持った支援職員人材育成、ペアレントメンター、地域サポーター養成研修等の支援を行っていく。

平成 28 年度目標及び結果

目標 1 静岡市健康づくり推進課・保健福祉センターとの連携

結果

- ・すくすくファイルの研修会 25 回
- ・静岡版早期発達支援プログラムの普及 5 回
- ・健診医師・保健師・心理士のための専門研修会 0 回
- ・ペアレントメンター派遣 154 回

目標 2 保育士・特別支援教育支援員研修会、保育園・幼稚園等学校単位の内部研修会及び相談会の実施

結果 ・実施回数 110 回

目標 3 ライフステージに応じた切れ目のない支援体制の充実

結果

- ・静岡市特別支援連携協議会 6 回
- ・静岡市子ども若者支援地域協議会に継続して参加 5 回

発達障害者支援法に基づく発達障害者に対する相談支援、発達支援、就労支援、関係機関に対する普及啓発及び研修等を行い、また、静岡市在住の自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害がある本人、家族、関係者及び関係機関からの相談支援を行った。

㊦（１）発達障害者支援センター事業

ア 発達障害児者及び家族に対する相談支援

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間延相談件数	900 件	866 件 (地域内 866 件) (地域外 0 件)	738 件 (地域内 730 件) (地域外 8 件)
年間実相談人数		767 件 (地域内 767 件) (地域外 0 件)	627 件 (地域内 620 件) (地域外 7 件)

イ 発達障害児者及び家族に対する発達支援

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間延相談件数	1,500 件	2,564 件 (地域内 2,564 件) (地域外 0 件)	1,994 件 (地域内 1,990 件) (地域外 4 件)
年間実相談人数		973 件 (地域内 973 件) (地域外 0 件)	872 件 (地域内 870 件) (地域外 2 件)

ウ 発達障害児者に対する就労支援

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間延相談件数	100 件	349 件 (地域内 349 件) (地域外 0 件)	283 件 (地域内 276 件) (地域外 7 件)
年間実相談人数		127 件 (地域内 127 件) (地域外 0 件)	131 件 (地域内 126 件) (地域外 5 件)

エ 関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修

(ア) センター主(共)催で企画した研修

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間開催回数	70 回	123 回	83 回
年間延参加人数	4,000 名	2,652 名	2,928 名

(イ) 外部から講師依頼による職員派遣

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間派遣回数		32 回	27 回
年間延参加人数		1,089 名	1,618 名

(ウ) 連絡協議会・調整会議の開催回数

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間実施回数		66 回	42 回

(エ) 機関コンサルテーション支援

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間実施回数		122 回	26 ヲ所

(オ) 個別支援のための調整会議の開催回数

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間実施回数		370 回	284 回

② (2) 家族支援・支援体制サポート強化事業

ア ペアレントメンター（地域サポーター）家族支援

(ア) 養成研修

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間実施回数		6 回	6 回
年間延参加人数		421 名	339 名

(イ) 活用による支援

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間実施回数		154 回	25 回

イ 支援体制サポート強化事業による巡回

(ア) 保育園、幼稚園への訪問支援

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間訪問箇所数		25 カ所	22 カ所
年間延参加職員数		776 名	810 名

(イ) 小中学校、放課後等デイサービスへの訪問支援

	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
年間訪問箇所数		8 カ所	10 カ所
年間延参加職員数		183 名	251 名

8 伊豆医療福祉センター（病院等事業）

基本理念

私たちは、障がいを持つ方々の生活の充実・満足を目指して、チームを組んで医療と療育の総合的支援に取り組みます。

平成 28 年度目標及び結果

目標

- 1 入所者の確保
- 2 利用者の満足度の向上(居室・活動場所の効果的活用)
- 3 在宅重症心身障害児者の福祉向上(送迎支援の導入検討)
- 4 機能充実に伴う人材の確保・職員の質の向上
- 5 健全な経営

結果

- ・ 平成 28 年度末における入所児(者)は、児童が 9 名、成人が 25 名の計 34 名で、平成 28 年度当初の 33 名から名増加した。さらに平成 29 年 4 月 1 日付で 1 名の入所があり、平成 29 年度当初の入所児(者)数は 35 名となっている。
- ・ 生活介護の利用者の増加や、相談支援における計画相談等の件数や地元の自立支援協議会等への参加の増加など、入所サービスが中心であった当センターの事業における在宅支援サービスの比重が増加している。
- ・ ひとつひとつの看護・介護行為は、安全を心がけ、丁寧に実施した。安全対策委員会・感染防止委員会等を開催し、防ぐことのできる事故を起こさないよう努めた。
- ・ 重度・重症児(者)医療・療育講習会他へ職員を参加させ、職員の医療・療育技術の向上を図った。

(1) 医療型障害児入所施設（一種事業）・障害福祉サービス事業（療養介護）（二種事業） (定員計 43 名)

当センターは、医療法に基づく病院でもあることから、外来診療として脳神経外科、発達行動小児科、小児神経科、整形外科、リハビリテーション科、障害児(者)歯科の専門診療を実施しており、社会福祉施設としての機能と併せ、静岡県東部の障害児(者)の総合的な療育支援を担っている。

	平成 28 年度 計画・目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績
1 日平均在所児(者)数	35 名	33.1 名	31.3 名
1 日平均外来患者数	85 名	88.2 名	85.2 名

(入 所)

(外 来)

・定 員	43 名 (43 名)	・年間延べ患者数	25,302 名 (24,186 名)
・在所児(者)数	34 名 (33 名)	・年間診療日数	287 日 (284 日)
・年間入所児童(者)数	1 名 (4 名)	・一日平均患者数	(目標 85 名)
・年間退所児童(者)数	0 名 (1 名)		88.2 名 (85.2 名)
・年間延べ在所児童(者)数	12,067 名 (11,431 名)		
・一日平均在所児童(者)数	(目標 35 名)		
	33.1 名 (31.3 名)		

(2) 障害児通所支援事業 (児童発達支援) (二種事業)

	平成 28 年度 計画・目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績
1 日平均利用者数	8 名	6.3 名	7.0 名
・定 員		7 名 (7 名)	
・登録児童数		14.3 名 (15.8 名)	
・年間延通所児数		1,403 名 (1,569 名)	
・一日平均通所児数		6.3 名 (7.0 名)	
・年間通園日数		222 日 (224 日)	

(3) 障害福祉サービス事業 (生活介護) (二種事業)

	平成 28 年度 計画・目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績
1 日平均利用者数	6 名	5.1 名	3.8 名
・定 員		5 名 (5 名)	
・登録者数		14 名 (10.7 名)	
・延べ通所者数		1,222 名 (903 名)	
・一日平均通所者数		5.1 名 (3.8 名)	
・年間通園日数		239 日 (240 日)	

㊦ (4) 障害福祉サービス事業 (短期入所) (二種事業)

㊦ (5) 日中一時支援事業 (地域生活支援) (公益事業) ※短期入所・日中一時支援の合計

	平成 28 年度 計画・目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績
1 日平均利用児(者)数	8 名	5.4 名	5.5 名
・年間延べ利用者数		1,955 名 (2,026 名)	
・一日平均利用児(者)数		5.4 名 (5.5 名)	
・年間実施日数		365 日 (366 日)	

⑥ (6) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業・(二種事業)

ア 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

平成 25 年 11 月より事業を開始し、相談支援専門員 1 名を配置し、計画相談等による支援を実施した。

	平成 28 年度 計画・目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績
計画相談等(モニタリング含む)	200 回	135 回	119 回

イ 静岡県障害児(者)地域療育支援センター事業

登録された障害児(者)を対象とし、在宅訪問・外来・施設支援等に対し、医師・PT・OT・ST・心理士・管理栄養士・看護師・保育士等を派遣し、在宅障害児(者)の療育指導を実施した。

	平成 28 年度 計画・目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績
在宅支援訪問療育等指導事業	150 回	122 回	81 回
在宅支援外来療育等指導事業	250 回	213 回	201 回
施設支援一般指導事業	50 回	28 回	35 回

ウ 静岡県発達障害者支援センター機能強化事業

自閉症、注意欠陥多動性障害等がある発達障害児(者)に対し、それぞれのライフステージに応じた生活を支援するため、地域での福祉サービス等の情報提供を行うとともに、学校・保護者を含む関係機関との調整会議に参加した。

県発達障害者支援センターが主催する研修会へ参加した。

賀茂地区の発達障害に関する巡回相談を 26 回実施した。

エ 地域生活支援事業

身近な地域での各種福祉サービスの利用などに関する、電話等を含めた様々な相談に相応じるとともに、障害児(者)が充実して暮らせる地域づくりを目指し、行政機関や、自立支援協議会との連携を図った。

	平成 28 年度 計画・目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績
地域生活支援事業	500 回	400 回	345 回
自立支援協議会等参加		81 回	45 回

9 静岡県川奈臨海学園（社会福祉事業）

基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが、尊重され、心身とも健やかに育成され、将来健全な社会の一員として、自立できるように支援を行う。

平成 28 年度目標及び結果

- 目標 1** 「児童養護施設等の家庭的養護の推進計画」について、静岡県健康福祉部こども未来局こども家庭課及び関係機関との連携の上、施設の建替えに向けての取組を進めていく。
- 結果** 静岡県済生会法人支部とともに静岡県へ施設改築についての計画案を示した。課題の整理、今後の予定について継続して確認をしている。
- 目標 2** 家族との連携及び協働について、家族再統合のできる家庭の調整を行う。
- 結果** 年間退所者 17 名のうち、家庭統合が 11 名、自立 3 名、他施設への措置変更 2 名であった。児童相談所との連携のもと、アフターケアも継続して行っている。
- 目標 3** 里親支援相談員の活動を通して、里親の研修、実習を続け、里親の開拓や、資質の向上サポート等を引き続き行う。
- 結果** 里親事業推進と里親開拓をし、里親認定前研修養育実習のため 10 名を積極的に受け入れた。里親宅へ 1 名措置変更した。
- 目標 4** 病児保育について、指定医療機関との連携により、病児に対して疾病からの回復を支援する。
- 結果** 年間の利用数 269 名であった。区分違いの病児の受け入れ、SNS の利用により、情報発信の場を広げた。

(1) 児童養護施設（一種事業）

ア 児童養護施設運営事業

平成 28 年度から定員を 70 名とし、虐待を受けた児童が増加する中、2 才児から高校生及び措置延長した専門学校生まで、関係機関との連携を図りながら、一日平均 61.4 名の子どもたちに対し、職員全体が関わりながら、より良い支援を行うよう努力した。

イ 小規模グループケア

小規模グループケア棟で定員 6 名、専任職員と本体施設職員がシフトを組み、児童との関係を密接にし、ケアの内容を深めた。

・定員	70名	(80名暫定77名)
・年間入所児童数	14名	(11名)
・年間退所児童数	17名	(20名)
・年間延在所児童数	22,423名	(23,810名)
・一日平均在所児童数	(目標67名)61.4名	(65.1名)
・小規模グループケア	(目標6名)5.4名	(6名)

入所理由別人員（主訴）（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

入園理由	年間取扱実人員（名）	構成比（％）
疾患	0	0
養護	18	25.7
虐待	52	74.3
計	70	100

月別在所児童数

区 分				
年 月	初日在籍者数(名)	延べ人数		
28年	4月	56	1,680	
	5月	56	1,736	
	6月	59	1,770	
	7月	63	1,953	
	8月	63	1,938	
	9月	65	1,950	
	10月	65	1,987	
	11月	64	1,920	
	12月	64	1,966	
	29年	1月	62	1,922
		2月	62	1,736
		3月	62	1,865
合 計	741	22,423		
月平均	61.8	1,868.6		
一日平均		61.4		

ウ その他 乳幼児受け入れ

伊東市立吉田幼稚園や近隣地域と連携を取り、理解と協力を得ながら、積極的な乳幼児の受け入れを行った。（月平均 11.8名）

② (2) 病児保育事業 (二種事業)

伊東市との病児保育事業業務委託を受け、基本理念を「子どもたちの健全な成長と発達を保障しつつ、疾病からの回復を援助する」とし、指定医療機関と連携して、病児の看護保育を行い、伊東市内の子育て世帯の支援を行った。

平成 28 年度の利用

	平成 28 年度 目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績
登録累計数	791 名	766 名	731 名
年間利用延べ児童数	240 名	269 名	22 名
月平均児童数	20 名	22.4 名	18.5 名

10 静岡市心身障害児福祉センターいこいの家（社会福祉事業）

基本理念

児童福祉法に基づく児童発達支援センターとして、発達のおくれが心配な乳幼児の子育て支援・家庭支援の充実をめざし、こどもたちの健やかな育ちと安心安全な生活の達成に努める。

平成 28 年度目標及び結果

目標 障がい幼児の通園事業を核として、発達のおくれが心配な就園前幼児の親子教室・療育相談や、保育所・幼稚園に就園している幼児の保育所等訪問支援、障がい児の相談支援等の事業の一層の充実を図る。

結果

- ・核となる通園事業は、50 名中 25 名の児童が入れ替わった為、保護者に対するいこいの家の事業内容の説明を丁寧に行う必要性を再確認した。
- ・自閉傾向の児童が半数を占め、そのうち知的に問題はなく 5 年間家庭で過ごしていた自閉度の強い年長児が通園できるようになり児童発達支援の対象児の広がりを感じた。
- ・昨年対応が遅れたインフルエンザ対策は、発症児が出るとクラス単位で食堂や通園バスの利用を中止し、早目の対応をすることで流行の広がりを防ぐことができた。
- ・親子教室は、通園開始前の 2 才からと年齢制限をしたが、希望児は多く、特に歩行可能なひまわりグループは、年度末には増え続け、未歩行のたんぽぽグループとの利用者数と差が大きくなった。来年度は、ひまわりグループの日数を増やし、たんぽぽグループの日数を減らす対応を考えてゆきたい。
- ・保育所等訪問支援は、少しずつ周知され希望児が増えている。一度利用すると継続して希望される方が多く、新しい希望児を受け入れられなくなってしまふ為、今後、終了のタイミングを検討する。
- ・年々増える希望児に計画相談は対応できず、現状の維持に止まった。引き続き相談員(有期契約)を募集し、対応としたい。

⑩（1）障害児通所支援事業（二種事業）

ア 児童発達支援通所支援

就学前の心身障害児に対して集団参加を通して、生活と遊びを充実させ、健やかな成長、発達をしていくように支援し、併せて就園・就学に向けての基礎作りをした。

・入園児数（定員）	50 名	(50 名)
・年間新入所児童数	25 名	(24 名)
・年間退所児童数	21 名	(25 名)
・年間延在所（通園）児童数	9,585 名	(9,321 名)
・一日平均在所（通園）児童数（目標 45 名）	40.4 名	(39 名)

疾病別人員

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

病 名	年間取扱実人員 (名)	百分比 (%)
脳 性 麻 痺	8	16.0
自閉症(自閉傾向を含む)	25	50.0
精神遅滞(発達遅滞を含む)	5	10.0
染色体異常(ダウン症他)	8	16.0
その他	4	8.0
計	50	100.0

月別在所児童数 (年間通所日数 237 日)

年 月	初日在籍者数	延 人 数
27 年 4 月	50	672
5 月	50	765
6 月	50	960
7 月	50	831
8 月	50	741
9 月	50	892
10 月	50	871
11 月	50	801
12 月	50	712
28 年 1 月	50	716
2 月	50	849
3 月	50	775
合 計	600	9,585
月平均	50	798.8
一日平均		40.4

イ 保育所等訪問支援

	平成 28 年度 目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績
訪問相談	50 件	68 件	65 件
来所相談	／件	79 件	79 件
電話相談	／件	373 件	355 件

② (2) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業(二種事業)

	平成 28 年度 目標	平成 28 年度 実績	平成 27 年度 実績
障害児支援利用計画	160 件	95 件	106 件
特定相談計画	／件	0 件	0 件
モニタリング	／件	72 件	77 件
一般相談	／件	190 件	228 件
電話相談	／件	1,090 件	1,075 件
訪問支援	／件	165 件	144 件
その他	／件	509 件	208 件

(3) その他 地域療育支援事業

ア 親子教室 年間 204 回 (204 回) (月平均 17 回) (17 回)
登録者数 111 名 (130 名)
参加児延数 (目標 1,800 名) 1,473 名 (1,518 名)

イ 療育相談の実施 (随時) (目標 60 名) 48 名 (43 名)
(一般相談) (電話及び来所) 334 名 (380 名)

ウ 地域交流等

地域に開かれた通園施設として、地元をはじめ広く市民やボランティア、学生、主婦の方々との交流を実施した。

・いこいの家通信発行	12 回	(12 回)	371 部	(370 部)
・夏祭り参加者	461 名	(398 名)		
・地域交流まつり参加者	352 名	(383 名)	(城東保健福祉エリアで開催)	
・実習生受入	25 名	(23 名)	延 370 名	(251 名)
・体験研修受入	84 名	(42 名)	延 137 名	(85 名)
・ボランティア受入	個人 21 名	(17 名)	団体 74 名	(53 名)
	延 506 名	(431 名)		

11 小 鹿 苑 (社会福祉事業)

基本理念

私たちは、ご利用者一人ひとりの声に耳を傾け、真に、ご利用者の立場に立った支援を
実践します。

平成 28 年度目標及び結果

目標 1 ご利用者自らが望む生活を施設や地域の中で実現できるように支援する。

- (1) 入所者の良好な生活環境を保持し、快適な暮らしを提供する。
- (2) 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、適切なサービスを提供する。

結果 (1) 入所者の生活環境の向上及び感染症リスク軽減のために「弱酸性次亜塩素酸噴霧器」を設置した。廊下等の消臭効果は顕著であった。

- (2) ケアプラン部、短期入所、デイサービス、ホームヘルパーが連携し、地域包括支援センターから依頼される緊急利用者など迅速、適切なサービスを提供した。

目標 2 目標達成への努力を尽くす。

各事業において設定した目標の達成に向けて、職員一人ひとりが同じ方向を向いて努力する。

結果 会議において運営状況を報告し、健全な運営に向け各事業努力したが、利用者の減少以上に新規利用者を受け入れできず、稼働率を伸ばすことができなかった。

目標 3 質の高いサービスを提供できる職員を育成する。

職員のスキルを向上させるため、育てる意識と職員自らが育つ意識を持つ。

結果 講師によるポジショニング研修の継続や、外部講師を招いての施設内研修の実施など職員研修の充実を図ったが、職員の減員などにより、個人別の外部研修の機会を多くできなかった。

目標 4 危機管理意識の醸成

自然災害や不慮の事故が発生した場合に備え、常に危機管理意識を持ち、最悪の事態を想定して必要な準備を行い、発生時には経過や結果を詳細に記録する。

結果 ・安全管理マニュアルや、防災マニュアルの見直しを行い整備した。
・防犯については、職員通用口ドアにテンキー錠を設置し、玄関、通用口等にセンサー式ライトを設置した。

(1) 特別養護老人ホーム運営事業 (一種事業) 80名定員 (80名)

経営の健全化のため空床率の削減に努めたが、年間退所者が31名となり、スムーズな新規受入が行えず、1日平均在所者数は前年より2名減少した。

中庭を活用し、暖かな季節には青空のもとランチを楽しみ、ウインターシーズンには昨年に引き続き今年もイルミネーションを楽しむことができた。

ポジショニング (褥そう等の予防のための姿勢矯正) を継続して実施し、講師の指導のもと介護度の高い方のQOLの向上に取り組んだ。

新規の入所申込が47件あり、入所希望者は平成28年度末現在で88名(109名)である。

・年間新入所者数	30名 (14名)
・年間退所者数	31名 (19名)
・一日平均在所者数(目標79名)	76.3名 (78.4名)
・入所者平均年齢	86.1歳 (85.1歳)
・平均介護度	3.5 (3.7)

疾病別人員 (平成28年4月1日～平成29年3月31日現在)

病名	年間実人員(名)	構成比(%)
脳卒中等	29	25.9
認知症等	55	49.1
心疾患等	1	0.9
リウマチ、脊椎症等	6	5.4
その他	21	18.7
計	112	100.0

(2) 老人短期入所事業 (二種事業) 定員20名 (20名)

施設入所等により34名利用者が減少し、新規利用者は26名であった。例年どおり、週末・連休期間の希望者は多数であった。また、インフルエンザにより受け入れの人数を制限した期間があり稼働率が伸びなかった。一人年間利用日数は、平均64.6日(63.4日)であった。

・年間延べ利用者数	5,313名 (5,524名)
・月平均利用者数	442.8名 (460.3名)
・一日平均利用者数(目標18名)	14.6名 (15.1名)
・利用者平均年齢	84.9歳 (84.8歳)
・平均介護度	要支援2.0 要介護2.8 (3.1)

(3) 老人デイサービスセンター（通所介護事業）（二種事業）定員一日 35 名（35 名）

通常規模型（月次 301 名以上 750 名以下）でサービスを行った。駿河区はデイサービスの競合施設が多く、利用者の新規受入を伸ばすことができず、稼働率も減少した。施設入所等により 26 名の利用者が減少し、新規利用者は 19 名であった。

・年間延べ利用者数	5,544 名 (6,398 名)
・月平均利用者数	462.0 名 (533.2 名)
・一日平均利用者数(目標 23 名)	18.0 名 (20.8 名)
・年間実施日数	308 日 (308 日)
・利用者平均年齢	86.9 歳 (86.9 歳)
・平均介護度	要支援 1.6 要介護 2.1 (要支援 1.7、要介護 2.2)

(4) 老人居宅介護等事業（訪問介護事業）（二種事業）

13 名 (13 名) のホームヘルパーが稼働した。施設入所等により 21 名の利用者が減少し、新規利用者は 21 名であった。ヘルパーの人材確保が困難であり、需要に対応した新規利用者の受入ができず、稼働率が減少した。

・年間延べ利用者数	5,051 名 (6,282 名)
・月平均利用者数	420.9 名 (523.5 名)
・一日平均利用者数(目標 24 名)	16.3 名 (20.2 名)
・年間活動日数	310 日 (311 日)
・利用者平均年齢	81.7 歳 (83.1 歳)
・平均介護度	要支援 1.6 要介護 1.7 (1.9)

⑤ (5) 地域包括支援センター運営事業（公益事業）

静岡市からの受託事業であり、主に地域支援事業と指定介護予防事業を行った。西豊田、東豊田、東源台小学校区を担当し、高齢者の方からの総合相談、介護保険要支援認定者の予防プラン作成を行い、関係機関や民生委員との連携により問題解決に努めた。

支援困難ケースについて、その取り組みの検討や、地域課題の抽出を目的とした地域ケア会議を実施した。

・年間延べ相談者数	1,756 名 (1,606 名)
・月平均相談者数	146.3 名 (133.8 名)
・一日平均相談者数	5.7 名 (5.2 名)

- ・介護予防支援 (直営・委託) 4,176 件 (4,058 件)
- ・年間活動日数 308 日 (309 日)

(6) 居宅介護支援事業 (公益事業)

4名(5名)のケアマネジャーが稼働し、ケアプランを作成した。本年度より地域包括支援センターから予防ケアプランの受託作成を行った。要介護認定調査は、年間163件(160件)であった。

- ・年間ケアプラン給付管理者延べ数 1,410 件 (1,392 件)
- ・月平均数(目標120件) 117.5 件 (116 件)
- ・ケアプラン新規作成者 68 名 (62 名)
- ・平均介護度 要支援 1.7 要介護 2.3 (2.4)

月別在所 (利用) 者数 (名)

区分	特 養		短 期		デｲｰﾋﾞｽ		ﾎｰﾑヘルﾊﾟｰ		地域包括支援センター	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
28年4月	77	2,244	53	525	61	510	61	429	113	175
5月	80	2,357	58	513	58	516	59	442	92	140
6月	79	2,317	53	511	56	480	62	487	79	159
7月	81	2,360	53	453	55	464	62	403	91	135
8月	78	2,347	50	496	52	437	60	402	106	173
9月	76	2,186	52	450	54	456	57	415	94	130
10月	82	2,385	44	402	52	487	59	374	67	117
11月	82	2,308	47	446	55	451	60	404	103	164
12月	82	2,449	49	418	56	413	63	386	78	125
29年1月	79	2,379	46	325	56	413	60	397	86	143
2月	80	2,132	39	289	56	417	63	441	89	170
3月	81	2,382	50	485	58	500	61	471	92	125
合計	957	27,846	594	5,313	669	5,544	727	5,051	1,090	1,756
月平均	79.8	2,320.5	49.5	442.8	55.8	462.0	60.6	420.9	90.8	146.3
一日平均	76.3		14.6		18.0		16.3		5.7	

12 小鹿なでしこ苑 (社会福祉事業)

基本理念

あなたがあなたらしく 私が私らしく

平成 28 年度目標及び結果

目標 1 個人に適したケアを徹底し、その人らしい生活の実現に努めます。

結果 ケアプランをとおしたケアを徹底し、個別処遇の充実に努めた。

目標 2 プロ意識を持ち、専門性を発揮し、根拠あるサービスを提供します。

結果 各種研修会に参加し、専門性に基づいたサービスを提供できるように努めた。

目標 3 自己啓発に努め、専門職として力量を高めます。

結果 外部研修に積極的に参加するとともに、施設内研修の充実に努めた。

国家資格取得に向けた勉強会等を開催し、資質の向上に努めた。

目標 4 職員間の報告・連絡・相談を徹底し、チームとしての協力体制を強化します。

結果 各委員会、イントラネットを活用し、情報を共有した。ユニット会議を通じ、問題の解決方法を話し合い、チーム力を高めた。

(1) 特別養護老人ホーム運営事業(一種事業)

定員 96 名 (96 名)

研修体制の強化、介護福祉士資格取得支援、業務マニュアルの見直し等を行い、入居者の処遇改善に努めた。

・年間新入所者数	20 名	(19 名)
・年間退所者数	19 名	(20 名)
・一日平均在所者数	(目標 94.0 名) 95.6 名	(95.3 名)
・入所者平均年齢	84.6 歳	(85.0 歳)
・平均介護度	3.8	(3.6)

(2) 短期入所事業 (二種事業)

定員 13 名

日中活動の充実、土日祝送迎の強化、業務内容の見直し等により、利用しやすい環境整備を行い、稼働率の向上を図ったが、昨今の少子化、労働力不足により介護職員の採用難が続き、今後も定員 13 名を処遇する職員の確保が困難なため、1 月以降は稼働率を下げ対応した。

- ・年間延べ利用者数 3,319 名 (3,693 名)
- ・月平均利用者数 276.6 名 (307.8 名)
- ・一日平均利用者数 (目標 12.0 名) 9.1 名 (10.1 名)
- ・利用者平均年齢 86.4 歳 (87.1 歳)
- ・平均介護度 3.3 (3.6)

月別在所 (利用) 者数 (名)

区分 年 月	特 養		短 期	
	人数※	在所者延人数	人数	利用者延人数
28 年 4 月	96	2,870	33	338
5 月	95	2,965	35	336
6 月	96	2,880	31	304
7 月	95	2,964	33	324
8 月	95	2,953	35	320
9 月	95	2,872	32	316
10 月	96	2,971	37	332
11 月	96	2,880	34	313
12 月	95	2,955	29	283
29 年 1 月	95	2,954	21	215
2 月	96	2,665	8	116
3 月	96	2,956	7	122
合計	1,146	34,885	335	3,319
月平均	95.5	2,907.1	27.9	276.6
一日平均		95.6		9.1

※月末入所者数

13 静岡市桜の園 (社会福祉事業)

基本理念

「あなたらしさを応援します。」

・人権を尊重し、日々有効なサービスを展開します。そして常に生活の豊かさを求めます。

平成 28 年度目標及び結果

- 目標 1** 指定管理の更新に当たり完全利用料金制に移行したことを受け、安定した経営のため目標の利用者数を確保する。(1日平均利用者、入所 49 名・通所 21.5 名・短期入所 3 名・日中一時 2 名・城北館 13 名)
- 結果** 利用者の高齢化による病欠・入院等により、目標の利用者数は達成できなかった。
- 目標 2** 介護支援システムを導入することにより、生活支援業務の効率化、マニュアル化と各部署、職種間の連携を強化する。また、将来を担う職員の育成を図り、教育体制の構築を図る。
- 結果** 介護支援システムの導入に関して、システムの選定に時間を要したため、年度内での導入ができなかった。次年度に導入する予定。職員育成として、施設内外の職員研修を実施(参加)することで専門職としての意識向上に努めた。
- 目標 3** 事業継続計画の策定と浸透を図るとともに、協力関係にある地域との交流や連携体制を強化する。
- 結果** 事業継続計画(BCP)の策定を終え、BCPを活用した訓練や職員教育を実施した。BCP策定済みの他施設とも交流を図り、今後の協力体制について検討を行うベースを築いた。

障害者総合支援法に基づき、障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、利用者本位のサービスの提供を基本として利用者との対等な関係を構築する。

サービスの質の向上を図り、利用者の選択に応える。

障害者の個人としての尊厳を重視した福祉サービスの提供を目指す。

① (1) 障害者支援施設事業 (一種事業) (定員 80 名) (115 名)

ア 施設入所支援 (定員 50 名)、施設入所をともなう生活介護 (定員 50 名)

福祉、医療、リハビリ等多職種が連携し、身体状況、健康状態の把握と対応を怠らず、本人や家族の意向を汲み取りながら個別支援計画に基づく支援を心がけた。

また、作業療法士による集団・個別リハビリを実施し、身体機能の維持に努めた。

- ・年間入所者数 6 名 (2 名)
- ・年間退所者数 3 名 (4 名)

- ・年間延べ在所者数 施設入所支援 17,317名 (16,759名)
生活介護 12,440名 (12,023名)
- ・一日平均在所者数 施設入所支援 (目標49名)47.5名 (45.8名)
生活介護 (目標49名)47.7名 (45.9名)

疾病別人員 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

病名	年間実人員(名)	構成比(%)
脳血管障害	7	13
脳性麻痺	16	31
脳外傷(頭部外傷)	7	13
脊髄損傷	6	12
下肢機能障害(上記以外)	6	12
特定疾病(難病等)	2	4
その他	8	15
計	52	100

月別在所(利用)者数 (名)

区分 年月	入所支援		生活介護	
	人数	延べ人数	人数	延べ人数
28年4月	46	1,404	46	989
5月	48	1,489	48	1,060
6月	49	1,443	49	1,060
7月	49	1,496	49	1,019
8月	50	1,483	50	1,104
9月	50	1,443	50	1,061
10月	50	1,449	50	984
11月	48	1,377	48	1,016
12月	48	1,449	48	1,036
29年1月	48	1,454	48	1,038
2月	48	1,330	48	954
3月	49	1,500	49	1,119
合計	583	17,317	583	12,440
月平均	48.6	1,443.1	48.6	1,036.7
一日平均		47.5		47.7

(入所支援日数365日・入所生活介護日数261日)

イ 生活介護（通所） 定員 30 名（25 名）

生活介護（通所）では、安全かつ安心して過ごせる場であることを前提に、常時介護を必要とする方に身体機能・生活能力の維持、向上のための援助及び創作的活動の機会の提供を行った。

- ・実利用人数 54 名（53 名）
- ・年間延べ利用者数 4,712 名（4,722 名）
- ・一日平均利用者数（目標 21.5 名）19.6 名（19.5 名）

利用者数調（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

定員	年間 新利用者数	年間 退所者数	年間 延べ利用者数	一日平均 利用者数
30 (25)	6 (5)	8 (6)	4,712 (4,722)	19.6 (19.5)

月別利用者数 (名)

年月	初日在籍者数	延べ人数
28 年 4 月	47	417
5 月	50	389
6 月	50	461
7 月	50	385
8 月	49	421
9 月	47	371
10 月	47	406
11 月	47	373
12 月	46	358
29 年 1 月	46	366
2 月	46	362
3 月	46	403
合計	571	4,712
月平均	47.6	392.7
一日平均		19.6

(年間通所日数 241 日)

⑩ (2) 日中一時支援事業 (公益事業) [生活介護 (通所) 空床利用]

日中において一時的な見守りその他の支援を必要とする障害者に対して送迎・入浴・食事のサービスを提供した。

- ・実利用人数 11名 (16名)
- ・年間延べ利用者数 348名 (657名)
- ・一日平均利用者数 1.4名 (2.7名)

⑩ (3) 障害福祉サービス事業 (短期入所) (二種事業) 定員5名 (5名)

前年度に引き続き、年間を通じて緊急の要請に対応し受け入れを行った。家族の急な疾病等など地域で暮らす方々のニーズに対応した。

担当者会議へもできる限り積極的に出席し、その方の生活像を把握し、他機関との情報共有にも努めた。

- ・実利用人数 39名 (39名)
- ・年間延べ利用者数 797名 (1,038名)
- ・一日平均利用者数(目標3名) 2.2名 (2.8名)

月別在所 (利用) 者数 (名)

区 分	日中一時		短期入所	
	人数	人数	人数	延べ人数
28年4月	11	37	11	54
5月	10	32	16	58
6月	10	37	15	53
7月	10	34	11	41
8月	9	37	18	77
9月	9	32	15	59
10月	7	32	22	92
11月	7	25	17	107
12月	7	21	15	68
29年1月	7	22	15	67
2月	6	15	17	64
3月	6	19	15	57
合 計	99	343	187	797
月平均	8.3	29	15.6	66.4
一日平均		1.4		2.2

(年間通所日数 241日)

④ (4) 静岡市桜の園城北館 障害福祉サービス事業 (生活介護) (二種事業) 定員 20 名

(25 名)

城北館は、今年度より静岡市桜の園の従たる事業所ではなく、単独の生活介護事業所となった。

外出の機会を増やし、徒歩で行ける近隣のみならず、目的地を設定し、数人で外出できる機会も提供した。

- ・実利用人数 19 名 (21 名)
- ・年間延べ利用者数 2,887 名 (3,073 名)
- ・一日平均利用者数(目標 13 名) 11.9 名 (12.7 名)

利用者数調 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

定員	年間 新利用者数	年間 退所者数	年間 延べ利用者数	一日平均 利用者数
20 (25)	1 (1)	0 (3)	2,887 (3,073)	11.9 (12.7)

月別利用者数 (名)

年月	初日在籍者数	延べ人数
28 年 4 月	19	239
5 月	19	222
6 月	19	261
7 月	19	219
8 月	19	253
9 月	19	254
10 月	19	253
11 月	19	231
12 月	19	235
29 年 1 月	19	221
2 月	19	238
3 月	19	261
合計	228	2,887
月平均	19	240.6
一日平均		11.9

(年間通所日数 242 日)

14 静岡市心身障害者ケアセンター（社会福祉事業）

基本理念

一人ひとりが地域の一員として自立した日常生活を営むことができるよう、利用者が主役となり地域福祉に貢献できる施設を目指します。

平成 28 年度目標及び結果

目標 1 自立訓練新規利用者の確保に努める。

- (1) 対象となる地域の相談支援事業所と連携し、自立訓練終了後、個人にあった障害福祉サービス事業所等を提案できるように努めた。
- (2) 空席利用にて日中一時支援を利用されている方について、個別面談、相談等を行いながら他障害福祉サービス事業所の紹介や見学の同伴等を必要に応じて行い、新規自立訓練利用者の受入れ環境を整備した。

結果 新規利用者： 自立訓練（機能訓練） 5 名 自立訓練（生活訓練） 7 名

目標 2 利用者の意向にできる限り沿えることが出来るように努める。

- (1) 希望する自立訓練の日数を利用できるように努めた。
- (2) 訓練、送迎、入浴の見直しを随時行い、満足いただける環境づくりに努めた。

結果 利用者満足度アンケート：提供サービスへの満足度 76%（平成 27 年度 73%）

目標 3 多様化する障害に即した対応ができるように努める。

- (1) 内外研修への積極的な参加を行い、障害種別に即した適切な対応ができるように努めた。
- (2) 個別の担当者会議等に積極的に参加し情報収集する。また、各機関との関係性や連絡体制を強化することによって、支援の幅を広げるよう努めた。
- (3) 自立訓練のプログラムを見直し、個人の適性に対応していけるように努めた。

結果 職員研修参加回数：23 回（延べ参加者数 25 人）

目標 4 地域とのつながりに努める。

学校等の見学を積極的に受け入れ、ケアセンターの周知につながる機会を多く持つよう努めた。

結果

地域交流祭実施	1 回		
特別支援学校 連絡協議会 参加	2 回		
特別支援学校 状況調査報告	2 回		
見学・体験対応	5 回	計	119 名
職員研修受け入れ	2 回	計	2 名

静岡市心身障害者ケアセンターは、静岡市の指定管理者として自立訓練事業（機能訓練・生活訓練）を実施しており、自立訓練のサービス支給期間が終了した後、継続利用を希望される方については、空席利用として日中一時支援事業を実施した。

平成 27 年度より新たな指定管理を受け、引き続き利用者の要望にできる限り応えることができるように、更なるサービスの向上と利用者確保に努めた。

また、併設の障害者生活支援センター城東は、静岡市障害者等相談支援事業として市より委託を受け、委託支援事業及び特定相談・障害児相談支援事業を実施した。

疾病別人員 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	構 成 比 (%)
(身体障害)		
脳性麻痺	33	38.8%
脳血管障害	10	11.8%
脳外傷	8	9.4%
脊椎損傷	6	7.1%
その他	28	32.9%
計	85	100.0%
(知的障害)		
知的障害	28	52.9%
脳性麻痺	5	9.4%
ダウン症	6	11.3%
自閉症	8	15.1%
その他	3	11.3%
計	53	100.0%

指 (1) 障害福祉サービス事業

ア 自立訓練（機能訓練）（二種事業）（定員 20 名）

機能訓練の利用者は、身体機能の維持・向上、生活上の必要な訓練を、静岡医療福祉センターから訓練スタッフの派遣を受けて実施した。

- ・登録者数 17 名 (22 名)
- ・利用実績延数 1,080 名 (821 名)
- ・一日平均利用者数(目標 17 名) 4.5 名 (3.4 名)

月別利用者数（年間開所日数 240 日）

区 分	機能訓練		区 分	機能訓練	
	実人員(名)	延人数(名)		年 月	実人員(名)
28 年 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月	20	89	29 年 1 月	17	75
	20	84	2 月	18	99
	19	106	3 月	17	103
	19	92	合 計	218	1,080
	18	89	月平均	18.1	90
	17	87	一日平均		4.5 (3.4)
	17	91			
	18	82			
	18	83			

※27 年度は延べ人数であったため 28 年度は実人員に修正した。

イ 自立訓練（生活訓練）（二種事業）（定員 10 名）

生活訓練の利用者は、精神障害の合併により就労事業所等への通所が困難になった方や、障害特性による配慮の必要な方が利用された。

- ・登録者数 19 名 (32 名)
- ・利用実績延数 1,481 名 (1,236 名)
- ・一日平均利用者数（目標 10 名） 6.2 名 (5.1 名)

月別利用者数（年間開所日数 240 日）

生活訓練			生活訓練		
区 分	生活訓練		区 分	生活訓練	
年 月	実人員(名)	延人数(名)	年 月	実人員(名)	延人数(名)
28年4月	23	114	29年1月	21	99
5月	25	113	2月	22	120
6月	23	137	3月	19	129
7月	24	124	合 計	268	1,481
8月	23	136	月平均	22.3	123
9月	23	124	一日平均		6.2 (5.1)
10月	22	144			
11月	22	134			
12月	21	107			

※27年度は延べ人数であったため28年度は実人員に修正した。

指 (2) 日中一時支援事業（公益事業）（空席利用）

27年度から自立訓練の新規利用の確保・拡大に努めてきたため、空席利用である日中一時支援の利用者は減少した。

- ・登録者数 身体利用 47 名 (59 名) 知的利用 27 名 (33 名)
- ・利用実績延数 身体利用 2,274 名 (2,635 名) 知的利用 1,141 名 (1,382 名)
- 合計 3,415 名 (4,017 名)
- ・一日平均利用者数 身体利用 9.5 名 (10.9 名) 知的利用 4.8 名 (5.8 名)
- 合計 14.3 名 (16.7 名)

月別利用者数（年間開所日数 240 日）

日中一時支援			日中一時支援		
区 分	日中一時支援		区 分	日中一時支援	
年 月	実人員(名)	延人数(名)	年 月	実人員(名)	延人数(名)
28年4月	87	313	29年1月	77	227
5月	87	291	2月	75	259
6月	87	332	3月	74	280
7月	87	303	合 計	976	3,415
8月	83	327	月平均	81.3	284.5
9月	81	296	一日平均		14.3 (16.7)
10月	81	279			
11月	79	275			
12月	78	233			

※27年度は延べ人数であったため28年度は実人員に修正した。

② (3) 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（二種事業）

ア 障害者等相談支援事業

障害者生活支援センター城東は、身体障害を中心に在宅の障害者・家族の相談に関わり、必要な機関との連絡・調整を行い、支援を行った。

(ア) 相談件数 2,900 件 (2,419 件) (内、ピアカウンセリング 270 件)
相談人員 919 名 (717 名) (内、ピアカウンセリング 39 名)

(イ) その他の活動 身体障害者生活支援事業 91 回 (32 回)
・ 社会資源を活用するための支援 (外出支援等) 27 回
・ 社会生活力を高めるための支援 (パソコン教室) 64 回

(ウ) 参加会議 主催した個別支援会議 13 回 (8 回)
参加した個別支援会議 24 回 (20 回)
連絡調整会議等 22 回 (18 回)

イ 障害福祉サービス等の利用計画の作成（特定相談・障害児相談支援）

障害者生活支援センター城東は、静岡市の「指定相談支援事業所」として、障害福祉サービスの利用（身体・知的・精神）に関するサービス利用計画書を作成した。

(ア) 相談件数 2,349 件 (内児童 16 件) (1,596 件 内児童 11 件)
相談人員 173 名 (内児童 2 名) (165 名 内児童 2 名)

(イ) サービス利用等計画作成

実人員 192 名 (215 名) ・ 延件数 2,349 件 (1,596 件)

15 ワーク春日（社会福祉事業）

基本理念

明るく楽しく働くあなたを応援します。

（1）就労継続支援事業B型（二種事業）（定員 30 名）

平成 28 年度目標及び結果（就労継続B型事業所）

目標 「利用者のニーズに応え、作業の充実を図る。」

結果 封入、袋詰めなどの下請け作業をひとつひとつ丁寧に迅速に行うことにより、受注先からの信頼を得ることができ、作業量の増加につながった。その結果として、いろいろな作業にチャレンジしたいという利用者のニーズに対し、関われる作業を充実させることができた。しかし、職員が関わらなければならない工程がまだまだ多く、それらをいかに利用者にも出来るようにしていくかが課題である。また、就職したいというニーズを持つ利用者のうち 3 名は就労継続支援 A 型事業所へ移行することができた。

一日平均利用者数(目標 27 名)	27.6 名	(28.6 名)
平均工賃額（時間給）	251.7 円	(250.4 円)

●月別利用者数 (名)

	利用登録 者数	新規利 用者数	退所 者数	開所日数	利用延べ 人数	一日平均 利用者数
4 月	41	1	2	20	548	27.4
5 月	39	0	0	19	523	27.5
6 月	41	2	0	22	613	27.9
7 月	43	2	0	20	586	29.3
8 月	43	0	0	19	550	28.9
9 月	43	0	1	20	534	26.7
10 月	42	0	1	20	547	27.4
11 月	43	1	0	20	547	27.4
12 月	43	0	0	18	519	28.8
1 月	43	0	0	19	516	27.2
2 月	43	0	0	20	506	25.3
3 月	43	0	0	22	609	29.0
合計	---	6	4	239	6,598	27.6

●障害別利用者数（平成 29 年 3 月現在）

（名）

		男	女	合計	（備考）
身体障害	視覚	2	5	7	知的との重複 1 名 精神との重複 1 名
	聴覚	1	-	1	視覚との重複 1 名
	肢体不自由	17	6	23	知的との重複 4 名 精神との重複 1 名
	内部	2	-	2	
知的障害		2	3	5	身体との重複 1 名
精神障害		2	3	5	
合 計		26	17	43	

（2）福祉ホーム事業（二種事業）（定員 6 名）

平成 28 年度目標及び結果（福祉ホーム）

目標 地域生活を目指す障害者に対して宿泊施設の提供を行い、生活上の安全を確保し、相談支援を行う。

結果 新規利用者はなく、3名の利用にとどまった。個別の課題には丁寧に対応し安心かつ快適な居住の場を提供することができた。地域生活に向けては個別の相談にのっている。

利用者数

定員

6名

（6名）

一日平均利用者数（目標 4 名）

3.0 名

（2.7 名）

利用者数

16 静岡済生会看護専門学校（公益事業）

基本理念

済生の精神にもとづき、対象となる人間を生命尊厳や個人が尊重されるかけがえのない存在として捉え、それぞれの健康段階にある人に看護が実践できるような専門職業人を目指す。

平成 28 年度目標及び結果

目標

- 1 看護師としての基礎的能力の育成と済生の理念を基にした看護が実践できる学生を育成する。
- 2 講義・演習・実習へと学生自身が学びを継続し、深めるよう、講義内容を工夫する。また、教育目標を達成できるよう臨床と協働する。
- 3 教員の経験に応じた教育研修・臨床研修を行い、教育力の向上を図る。
- 4 看護師国家試験については、今年度も連続して全員合格を目指す。

結果

- ・看護を必要とする人を総合的に理解する能力を養い、看護に必要な知識・技術を習得し、それぞれの健康段階にある人に応じた看護が実践できる基礎的能力を養った。
- ・保健・医療・福祉に貢献できる看護師を育成することを目的に、それぞれの学年目標を掲げ、学校での基礎的教育や臨地実習での技術習得に励んだ結果、対象の学年においては、ほぼ目標を達成することができた。

本年度においては、次のとおり 116 名（118 名）の看護師養成教育を行った。

この運営には、131,830,274 円（137,708,442 円）の経費を要し、うち、20,854,000 円（20,238,000 円）の補助金を県から受けた。

加えて、教育課程の適正な運用を図り、個々の学生への学習指導を充実・強化して実践した。さらに、臨地実習においては、臨床指導者と教員との連携を図り、学生への指導体制を整えて協働して指導に当たった。学生一人一人の理解度に応じた学習を支援したが、国家試験では受験生 36 名のうち 32 名の合格にとどまった。

看護師としての適性がある学生を確保するため、学校説明会やオープンスクールを開催するとともに、県内のナースセンター主催の看護学校進路説明・相談会へ参加した。また、高等学校訪問、ホームページのリニューアルなどにより学校の PR に努めた。

（1）学年別在籍者数 定員 120 名

区分	1 年次生	2 年次生	3 年次生	計
平成 28 年度実績	40 名	39 名	37 名	116 名
平成 27 年度実績	38 名	35 名	45 名	118 名

(2) 入学試験結果状況

(名)

区 分		平成 29 年度	平成 28 年度
受験者	推薦入試	31	26
	社会人入試	19	28
	一般入試	92	113
	計	142	167
合格者	推薦入試	16	13
	社会人入試	2	1
	一般入試	64	50
	計	82	64
入学者	推薦入試	16	13
	社会人入試	2	1
	一般入試	22	26
	計	40	40

(3) 卒業生の状況

(名)

区 分	平成 28 年度実績	平成 27 年度実績
済生会総合病院	27	41
その他県内病院	2	1
県 外 病 院	3	0
進 学	1	0
そ の 他	3	0
計	36	42

(4) 看護師国家試験結果状況

(名・%)

	平成 28 年度実績			平成 27 年度実績		
	受験者数	合格者数	合格者率	受験者数	合格者数	合格者率
静岡済生会看護専門学校	36	32	88.9	42	42	100.0
県内看護専門学校(3年課程)	-	-	96.6	-	-	99.2

平成 27、28 年度合格率は、厚生労働省から入手した新卒者の合格率である。

平成 28 年度の全国(3年課程)の合格率は 95.9% (厚生労働省) となっている。

17 静岡済生会訪問看護ステーションおしか (公益事業)

基本理念

障害や疾病を持ち、地域で生活している人々に対して、住み慣れた地域で、安心して「その人らしく心豊かな生活」ができるよう、温かく思いやりの心で質の高い看護を提供します。

平成 28 年度目標及び結果

目標 1 利用者の要望に沿い、安心と信頼を得られる質の高い看護を提供する。

結果

- ・事例検討や日々のカンファレンスで利用者の情報や問題の共有を図った。
- ・部署内研修の年間計画によって年 10 回定期的に研修が行い、平均参加率約 87% 院内外の研修に参加を促して、それぞれが複数回の参加を行った。
- ・事業年報を編集することで業務の振り返りを行った。
- ・苦情報告、インシデント、アクシデント報告の徹底を促し、結果は全体会議で報告し年報に掲載。
- ・外部講師による接遇、コンプライアンス研修会を行い、全体会議で周知徹底を促した。

目標 2 地域のニーズを知り、保健、医療、介護・福祉サービスとの密接な連携を図る。

結果

- ・利用者満足度調査実施調査の実施、また、広報活動として毎月のおたより・年報の配布等で訪問看護の活動内容を理解して頂くようにした。
- ・サービス担当者会議、退院前カンファレンスに積極的に参加を行なった。
- ・診療所の医師や他職種との連絡調整も積極的に行なった。

目標 3 在宅医療についての問題点を把握するとともに、関連機関等に提言し、在宅医療の向上に努める。

結果

- ・医師会や介護保険事業協会、ステーション協議会等の主催する事業や研修会に参加、(在宅連携情報システム、地域包括ケアシステムなど)。
- ・主治医、総合病院連携室、地域包括支援センター、ケアマネジャー、行政担当者等との連携を積極的に行った。

目標 4 健全な運営をめざし事業所基盤を強化する。

結果 訪問延べ件数は 16,956 件で目標の達成率 91.7%。職員の入替わりで新規受入の減少、短期間利用者の増加などで、利用者実人数、訪問延べ件数は減少しているが、医療での訪問が増えて平均単価は昨年同様。医療依存度の高い方、ターミナルケアなど済生会病院相談室、小鹿苑居宅支援事業所との連携をスムーズに行うように努めた。

(1) 訪問看護事業実績

平成 28 年度は、介護保険、医療保険を含め訪問延件数は 16,956 件 (17,366 件) であり、平成 27 年度に比べ 410 件 (介護保険 859 件減少、医療保険 446 件増加、その他 3 件増加) 減少した。また、訪問延件数のうち、6,506 件 (6,435 件) は、サテライトみかど台分である。

平成 28 年度目標件数 18,500 件

平成 28 年度実績件数

介護保険延べ件数 14,152 件 (15,011 件)

医療保険 2,746 件 (2,300 件)

その他(実費訪問) 58 件 (55 件)

合 計 16,956 件 (17,366 件)

月平均 1,413 件 (1,447.2 件) 1 日平均 57.9 件 (59.3 件)

疾病別 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

病 名	人 員 (名)	構成比 (%)
神経系疾患	45	10.6
呼吸器系疾患	29	6.8
精神障害	39	9.2
脳血管系疾患	49	11.5
骨格系及び結合組織疾患	38	8.9
悪性腫瘍	88	20.7
その他	137	32.3
計	425	100.0

月別訪問者数

年 月	取扱実人員 (名)	延 件 数 (件)
28 年 4 月	292	1,409
5 月	286	1,338
6 月	293	1,549
7 月	294	1,387
8 月	294	1,453
9 月	283	1,379
10 月	291	1,425
11 月	287	1,433
12 月	290	1,408
29 年 1 月	289	1,341
2 月	283	1,376
3 月	273	1,458
計	3,455	16,956
月平均	287.9	1,413
一日平均		57.9

(年間訪問日数 293 日)

年齢別性別訪問者数 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日) 単位：名

年齢 性別	～ 59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 ～	合 計
男性	20	12	15	22	25	47	34	22	197
女性	15	7	9	5	25	34	51	82	228

(2) グループホーム等への訪問看護

委託契約したグループホーム 1 施設に週 1 回の訪問をし、入居者の日常的な健康管理及びグループホーム職員からの相談への対応、また、必要に応じ医師との連絡調整及び指示書の発行を受け、医療処置等通常の訪問看護を行った。

その中で病状が悪化された 1 事例について、ご家族の希望により個別契約を行い、医療での訪問看護を行った。認知症の方が住み慣れたグループホームで最期まで生活して頂き、看取りまで支援することができた。